

NS-Siam United Steel社とSiam Tinplate社が経営統合



NS-SUS

タイに拠点を構える冷延・溶融亜鉛めっき鋼板の製造・販売子会社NS-Siam United Steel Co., Ltd. (NS-SUS)と、ブリキ・ティンフリーの製造・販売子会社Siam Tinplate Co., Ltd. (STP)は4月1日に経営統合しました。

このたびの経営統合は、工程一貫での基盤強化をさらに推し進めるとともに、両社の経営資源を最大限に活用し、品質・納期など、お客様への対応力や競争力の一層の強化を図ることが目的です。

第68回大河内賞にて「大河内記念生産賞」を受賞



贈賞式の様子

日本製鉄は、第68回大河内賞において「過酷な環境に適応した計測・制御による高強度鋼板の熱間圧延技術」にて「大河内記念生産賞」を受賞。贈賞式は3月22日に日本工業倶楽部会館で実施されました。

受賞技術は、高温、振動、大量の冷却水などの過酷な熱間圧延環境に適応した冷却帯内温度計、仕上平坦度計、仕上圧延スタンド間蛇行計の計測器と、これらを活用した高度制御技術の開発、実用化です。冷却帯内温度計は、世界で初めて冷却水が大量に存在する環境下での鋼板温度測定に成功。仕上平坦度計と仕上圧延スタンド間蛇行計は、熱間圧延の40年来的課題であった平坦度と蛇行の全自動制御を実現しました。その結果、品質・生産性が20%以上向上、製造歩留まりロスが20%以上減少し、高強度鋼板の高品質製造、安定供給が可能になりました。また、熱間圧延工程からのCO₂排出削減につながり、環境負荷低減にも貢献しています。

棒鋼・線材製品および構造用厚鋼板で「エコリーフ」環境ラベルを取得

日本製鉄は、このたび(二社)サステナブル経営推進機構(SAPIO)が認証する「エコリーフ」環境ラベル(※)を、「棒鋼製品」「線材製品」「棒鋼製品(建材)」「線材製品(建材)」および「構造用厚鋼板」(JIS、EN、ASTM規格、日本製鉄販売品規格)で取得しました。棒鋼・線材製品について、品種包括的なエコリーフ認証の取得は日本製鉄が国内初となり、日本製鉄が製造する棒鋼・線材製品、厚鋼板についてはすべて網羅したことになります。

日本製鉄が取得した「エコリーフ」環境ラベルは、2019年12月にH形鋼で初取得して以降、2月末時点で計22件の品種・製品です。日本製鉄製品を使用しただけお客様のCO₂削減、環境負荷低減を客観的に評価することができます。

※「エコリーフ」環境ラベル：資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品のLCAに資する定量的な環境情報を開示する国際的な認証制度。ISO14025規格で規定されているタイプⅢの環境ラベルで、国際的にはEPD (Environmental Product Declaration) と言われている。

TranTixii® 採用の浄土宗大本山増上寺大殿竣工

〈チタン製屋根瓦の採用実績で過去最大〉

日本製鉄の意匠性チタン「TranTixii(トランティクシー)」を屋根瓦として採用いただいた浄土宗大本山増上寺大殿が竣工しました。施工面積は、4235平方メートル(約22トン、チタン瓦約6万枚分)であり、チタン製屋根瓦の採用実績としては過去最大です。

増上寺は、2024年に浄土宗開宗850年の節目を迎えるにあたり、改修事業の一環として大殿の屋根瓦葺き替えにいたしました。従来の大殿には約500トンの土瓦が使用されていましたが、チタン瓦に置き換えたことで、約10分の1の軽量化が実現できました。



増上寺大殿屋根工事全景



増上寺大殿全景

タイG Steel Public Company Limited およびGJ Steel Public Company Limitedの株式取得(子会社化)

日本製鉄は、タイ国内で電炉から熱延製品を生産する一貫ミルであるG Steel Public Company Limited(G Steel)およびGJ Steel Public Company Limited(GJ Steel)の株式を取得して子会社化しました。

日本製鉄は、両社の株式の取得およびタイ証券取引法に基づく公開買付によりG Steelの60・23%、GJ Steelの57・60%を取得しています。

G SteelおよびGJ Steelの製造、販売等の経営基盤の活用に加えて、今後、生産性・品質の改善に取り組むことにより、堅調に成長することが期待されるタイにおける熱延需要の捕捉を推進します。

東日本製鉄所鹿島地区・北日本製鉄所室蘭地区に自社保育所が開園

日本製鉄は、出産・育児期にある社員の就業支援に関して、地域ごとの育児環境なども踏まえながら順次具体施策の整備を図っており、このたび東日本製鉄所鹿島地区と北日本製鉄所室蘭地区の自社保育所を新たに開園しました。今後、24時間保育など、ニーズに即した運営時間を予定しています。

日本製鉄は、今後もダイバーシティ&インクルージョンへの積極的な取り組みを通じ、日本製鉄で働く多様な従業員が誇りとやりがいを持って活躍できる企業を実現します。



2021年12月に開園した「かしま みなとのかぜ保育園」



2022年1月に開園した「室蘭 くらのうた保育園」

参考

自社保育所の整備状況 ※()内は開園時期
九州製鉄所大分地区(2016年4月)、東日本製鉄所君津地区(2017年4月)、九州製鉄所八幡地区(2017年4月)、名古屋製鉄所(2018年10月)、瀬戸内製鉄所広畑地区(2019年4月)

広報誌バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。右記二次元コードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

なお、定期送付ご希望の方は下記アドレスよりお申し込みください。

<https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-nipponsteel/index.html>



読者アンケートはWEBでも受け付けています。

下記URLもしくは右記二次元コードよりアクセスしてください。

<https://krs.bz/nssmc/m?f=78>

